

STAGEPAS Editor

ユーザーガイド



目次

1. はじめに	1
1.1. 本ユーザーガイドについて	1
1.2. ご注意	1
2. STAGEPAS Editorからリモートコントロールする	2
2.1. STAGEPAS Editor を接続する	2
2.2. STAGEPAS Editor を切断する	3
3. ツールバー	4
4. プリセット	5
4.1. プリセットをストアする	5
4.2. プリセットをリコールする	6
4.3. プリセット名を編集する	7
4.4. プリセットを削除する	7
5. EFFECT/EQ/PAN画面	8
5.1. CHANNELセクション	8
5.2. MASTERセクション	9
6. FADER画面	11
6.1. CHANNELセクション	11
6.2. MASTERセクション	12
7. MUSIC PLAYER/FADER画面	13
7.1. FADERセクション	13
7.2. MASTERセクション	15
7.3. MUSIC PLAYERセクション	15
8. MUSIC PLAYER画面	17
9. SONG画面	18
9.1. Search	18
9.2. Playlists	18
9.3. Artist	19
9.4. Albums	20
9.5. Songs	20
9.6. Folder (Android端末のみ表示)	21
10. SETTINGS画面	22
10.1. Device Setting画面	23
10.2. Device Nameを設定する	23
10.3. パスコードを設定する	24
11. Device List画面	26
12. 警告表示について	27
13. エラー表示について	28

1. はじめに

STAGEPAS Editor は、STAGEPAS 1Kをスマートフォンやタブレットなどのモバイル端末からBluetooth®を通じてリモートコントロールするためのアプリケーションソフトウェアです。STAGEPAS 1Kのパラメーターをコントロールしたり、メーターやインジケーターをモニターしたりできます。また、音楽プレーヤーの機能も搭載しており、弾き語りに便利な“Cued Mode”機能（曲の頭でスタンバイする）も利用できます。

1.1. 本ユーザーガイドについて

- ・本ユーザーガイドは、接続方法や操作方法など、本製品を活用するための情報を記載しています。
- ・本ユーザーガイドに記載されている記号とその内容は以下のとおりです。

記号	内容
 NOTE	操作や運用に関連した情報です。参考にお読みください。

1.2. ご注意

- ・本ソフトウェアおよび本ユーザーガイドの著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- ・本ソフトウェアおよび本ユーザーガイドの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- ・本ソフトウェアおよび本ユーザーガイドを運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・本ユーザーガイドに掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- ・Apple、Appleロゴ、iPhone、iPod touch、iPadおよびiOSは、米国および他国のApple Inc.の登録商標です。
- ・Androidは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- ・本ユーザーガイドに記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。
- ・本ユーザーガイドの記載内容の一部または全部を無断で転載することを禁じます。
- ・本ユーザーガイドは発行時点での最新仕様で説明しています。最新版はヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

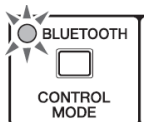


Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ヤマハ株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

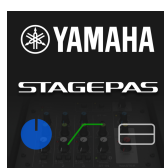
2. STAGEPAS Editorからリモートコントロールする

2.1. STAGEPAS Editor を接続する

1. STAGEPAS 1Kの電源をオンにします。
2. モバイル端末のBluetooth®機能をオンにします。
3. STAGEPAS 1Kの[BLUETOOTH/CONTROL MODE]スイッチを1秒程度押します。
[BLUETOOTH/CONTROL MODE] LED が点滅し、接続の待機状態になります。



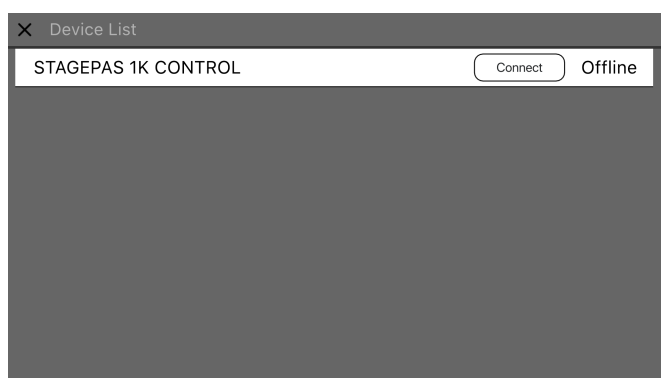
4. モバイル端末のSTAGEPAS Editorのアイコンをタップし、起動します。



NOTE

- ・初回起動時に、メディアライブラリーへのアクセス許可を求められます。あとからモバイル端末の設定でアクセス許可/不許可を変更できます。
- ・初回起動時に「位置情報へのアクセスを許可」をONにしなかった場合、STAGEPAS 1Kと接続できないことがあります。その場合は使用されているAndroid端末の位置情報と合わせてもう一度設定をしてください。

5. Device List画面が表示されたら、コントロールしたいSTAGEPAS 1Kをタップします。
コントロール対象のSTAGEPAS 1Kがハイライト表示されます。



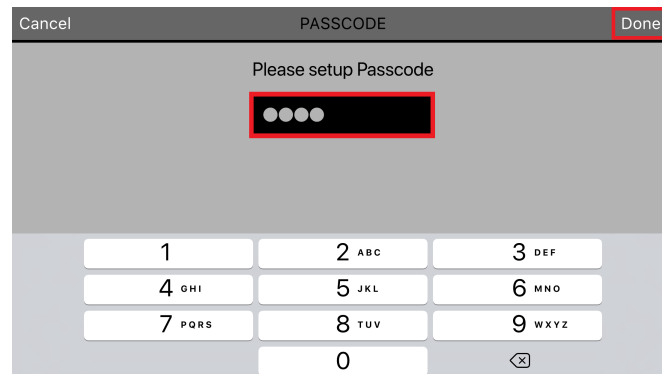
Device List画面では以下のようなことができます。

- ・オフラインモードに入り、STAGEPAS Editorの機能やユーザーインターフェースを試すことができます。
- ・接続するSTAGEPAS 1Kを選択し、STAGEPAS Editorを開始します。

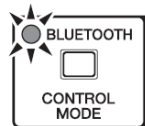
NOTE

- ・オフラインモードでは、メーターやプリセットのストア、リコール機能は動作しません。

6. “Connect”ボタンをタップします。
初回接続時は、パスコードを設定する画面が表示されます。
7. パスコードを入力する画面が表示されたら、任意の4桁の数字を入力し、Doneボタンをタップして確定します。



接続が完了すると、STAGEPAS 1Kの[BLUETOOTH/CONTROL MODE] LED が点灯し、[EFFECT/EQ/PAN画面](#)を表示します。



NOTE

- 一度接続した機器を次回接続するときは、手順5～手順7は不要です。
- Device List画面では、他のモバイル端末とすでに接続しているSTAGEPAS 1Kは表示されません。

2.2. STAGEPAS Editor を切断する

2.2.1. 本体側から切断する

1. [BLUETOOTH/CONTROL MODE]スイッチを3秒以上押し続けます。
[BLUETOOTH/CONTROL MODE] LED が消灯し、コントロールオフになります。

NOTE

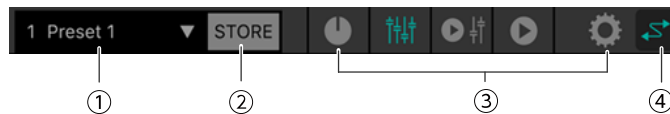
- * ミキサーのパラメーター値は、本体上の操作子の状態に戻ります。
- * STAGEPAS Editor でのみコントロールできるパラメータは初期値に戻ります。

2.2.2. STAGEPAS Editor 側から切断する

1. STAGEPAS EditorでDevice List画面を表示します。
コントロール対象のSTAGEPAS がハイライト表示されます。
2. “Disconnect”をタップします。
[BLUETOOTH/CONTROL MODE] LED が点滅し、STAGEPAS Editor 接続待機状態になります。
ミキサーのパラメーター値は、STAGEPAS Editorで設定した状態が維持されます。

3. ツールバー

STAGEPAS Editorの画面の切り替えやプリセットの情報を表示します。



① プリセット

現在リコールされているプリセットの番号と名前を表示します。タップすると、[プリセットリスト](#)が表示され、プリセットをリコールできます。ダブルタップすると、プリセット名の編集ができます。

② STORE

タップすると、プリセットを保存する[STORE画面](#)を表示します。

③ 画面の切り替え

STAGEPAS Editorの画面を切り替えます。開いている画面のアイコンが点灯します。



:[EFFECT/EQ/PAN画面](#)



:[FADER画面](#)



:[MUSIC PLAYER/FADER画面](#)



:[MUSIC PLAYER画面](#)



:[SETTINGS画面](#)

④ オンライン

オンライン中は点灯します。タップすると、[Device List画面](#)を表示します。

4. プリセット

音に関わる設定をプリセットとしてリコール（呼び出し）したり、ストア(保存)したりできます。プリセットは8つまでストアできます。

4.1. プリセットをストアする

1. ツールバーのSTOREをタップします。



2. STORE画面が表示されたら、ストア先のプリセットをタップします。



3. プリセット名を入力する画面が表示されたら、任意のプリセット名を入力し、Doneボタンをタップして確定します。



現在の設定がストアされます。

NOTE

- ・ 上書きしてストアする場合は、上書きを確認するメッセージが表示されます。

4.2. プリセットをリコールする

1. ツールバーのプリセットをタップします。



2. リコールしたいプリセットをプリセットリストからタップします。



NOTE

- [SETTINGS画面](#)の“Recall Confirmation”で、リコールする前に表示される確認ダイアログを表示しないように設定することもできます。
- プリセットはSTAGEPAS 1K本体に保存されます。
- No.0 Initial Dataはファクトリープリセットのため、ストアや編集、削除はできません。

4.3. プリセット名を編集する

1. プリセット欄をダブルタップします。

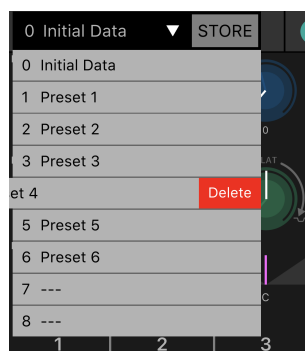


2. EDIT画面が表示されたら、プリセット名（最大16文字）を入力し、Doneボタンをタップします。



4.4. プリセットを削除する

1. ツールバーのプリセットをタップし、削除したいプリセットを左側にスライドします。Deleteボタンが表示されます。



2. Deleteボタンをタップします。

5. EFFECT/EQ/PAN画面

全体の信号の流れを操作します。入力ソースの音作り、各種設定の確認または編集を行ないます。

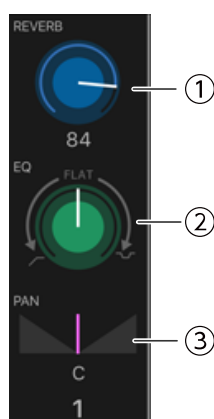
STAGEPAS 1Kに接続すると、STAGEPAS 1K本体パネルの設定値がSTAGEPAS Editorに反映されます。STAGEPAS Editorを操作した場合は、STAGEPAS 1K本体のツマミ位置は変わりませんが、STAGEPAS Editorで設定した値で動作します。

STAGEPAS 1K本体のツマミを操作した場合は、ツマミの設定値が反映されます。このとき、STAGEPAS Editorの操作子はツマミの動きに同期します。

この画面はCHANNELセクションとMASTERセクションから構成されます。



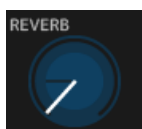
5.1. CHANNELセクション



① REVERB LEVELノブ

チャンネルから送るREVERBレベルを表示、設定します。ダブルタップすると、初期値に戻ります。

このパラメータは、白線がSTAGEPAS Editorの値を示し、STAGEPAS 1K本体パネルのツマミの位置は薄い色で表示します（下図では9時を指しています）。ノブの下には送るレベルを数値で表示します。



範囲：0～100

② EQノブ

EQの値を設定します。

中心（FLAT）から左に回すと、低域を減衰（カット）します。右に回すと、低域と高域を増幅（ブースト）します。

このパラメータは、白線がSTAGEPAS Editorの値を示し、STAGEPAS 1K本体パネルのツマミの位置は薄い色で表示します。

初期値：FLAT

③ PANバー

PANの値を表示、設定します。このパラメーターはSTAGEPAS Editorでのみ設定できます。

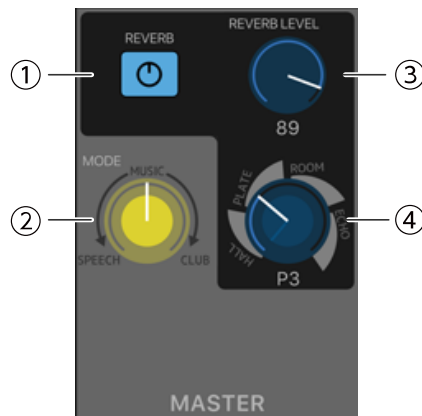
左右にドラッグしてPANを設定できます。ダブルタップすると、C(センター)に戻ります。

ノブの下にはPANの値を数値で表示します。

範囲：L32～C～R32

初期値：C

5.2. MASTERセクション



① REVERBボタン

タップしてリバーブのON/OFFを切り替えます。ONのときは点灯します。

初期値：OFF

NOTE

REVERBのON/OFFはフットペダル（FC5）でもできます。

② MODEノブ

MODEを設定します。

このパラメータは、白線がSTAGEPAS Editorの値を示し、STAGEPAS 1K本体パネルのツマミの位置は薄い色で表示します。

③ REVERB LEVELノブ

REVERBレベルを表示、設定します。このパラメーターはSTAGEPAS Editorでのみ設定できます。

ノブの下にはレベルを数値で表示します。

範囲：0～100

初期値：89

④ REVERB Type/Timeノブ

REVERBのTypeとTimeの表示、設定します。

HALL、PLATE、ROOM、ECHOのタイプがあり、右に回すほどTimeが長くなります。Timeは8段階あります。このパラメータは、白線がSTAGEPAS Editorの値を示し、STAGEPAS 1K本体パネルのツマミの位置は薄い色で表示します。

6. FADER画面

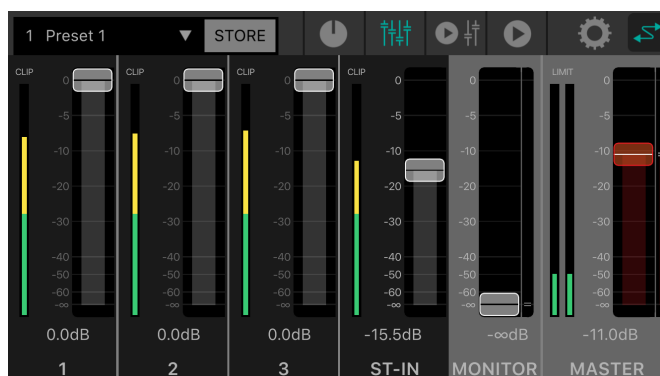
レベルを調整する画面です。

メイン画面同様にCHANNELセクションとMASTERセクションから構成されます。

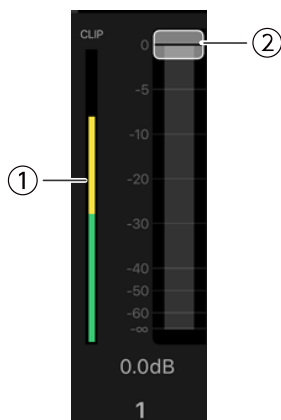


NOTE

STAGEPAS EditorのCHANNELセクションのフェーダーは、STAGEPAS 1K本体のチャンネルレベルの直後のデジタルレベルを操作します。どちらかのレベルが下がっている場合は、片方のレベルを上げて音が出ません。



6.1. CHANNELセクション



① レベルメーター

入力信号のレベルをリアルタイムに表示します。

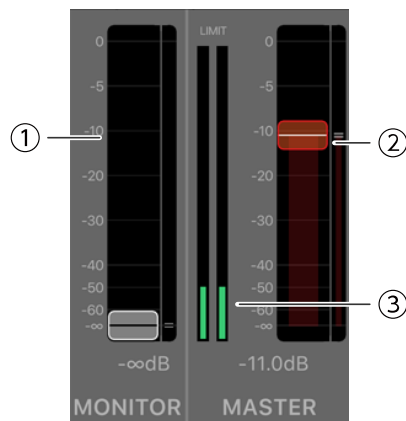
レベルメーターは-18dBまでは緑、0dBまでは黄色、信号がCLIPした場合は赤で表示します。

② フェーダー

レベルを表示、設定します。

フェーダー部分をドラッグして値を変更します。

6.2. MASTERセクション



① MONITORフェーダー

モニターレベルを表示、設定します。

フェーダー部分をドラッグして値を変更します。

STAGEPAS 1K本体パネルのモニターレベルの位置は右側の表示で確認できます。

② MASTERフェーダー

フェーダー部分をドラッグして値を変更します。

STAGEPAS 1K本体パネルのマスターレベルの位置は右側の表示で確認できます。

③ MASTERレベルメーター

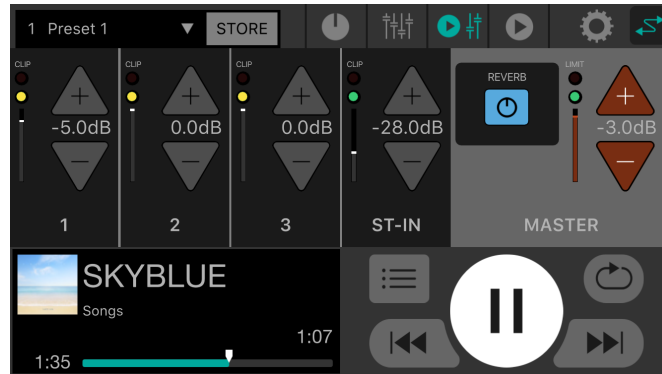
出力信号のレベルをリアルタイムにステレオで表示します。

レベルメーターは-18dBまでは緑、0dBまでは黄色、リミッターがかかった場合は赤で表示します。

7. MUSIC PLAYER/FADER画面

MUSIC PLAYER/FADER画面は、FADERセクションとMASTERセクションとMUSIC PLAYERセクションから構成されます。

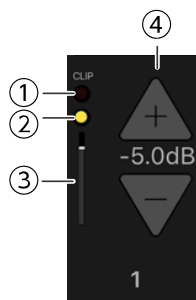
MUSIC PLAYERは、モバイル端末内の曲をBluetooth®オーディオを使ってSTAGEPAS 1Kで再生します。ただし、Bluetooth®コントロールとは別に Bluetooth®オーディオのペアリングが必要です。ペアリングしていない場合や、ペアリングしているSTAGEPAS 1Kと接続していない場合はモバイル端末で再生します。



NOTE

- ・初回起動時に、メディアライブラリーへのアクセス許可を求められます。あとからモバイル端末の設定でアクセス許可/不許可を変更できます。
- ・初回起動時に「位置情報へのアクセスを許可」をONにしなかった場合、STAGEPAS 1Kと接続できないことがあります。その場合は使用されているAndroid端末の位置情報と合わせてもう一度設定をしてください。

7.1. FADERセクション





① CLIPインジケーター

過大入力で信号がクリップしたときに赤く点灯()します。

② レベルインジケーター

レベルに応じて点灯色が変わります。

-60dBから-18dBまでは緑()、0dBまで黄色()で点灯します。入力が無い場合は消灯しています。

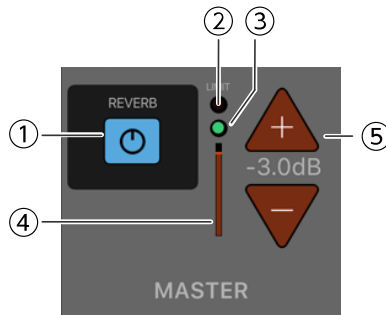
③ フェーダーレベル

現在のフェーダーのレベルを表示します。

④ フェーダーレベルINC/DECボタン

INC(+)/DEC(-)ボタンをタップしてフェーダーレベルを設定します。
INC(+)/DEC(-)ボタンの間にはフェーダーレベルを数値で表示します。

7.2. MASTERセクション



① REVERBボタン

タップしてリバーブのON/OFFを切り替えます。ONのときは点灯します。

② LIMITインジケータ

リミッターがかかったときに、赤で点灯します。

③ MASTERレベルインジケータ

レベルに応じて点灯色が変化します。

-60dBから-18dBまでは緑(■)、0dBまで黄色(■)で点灯します。
入力がない場合は消灯しています。

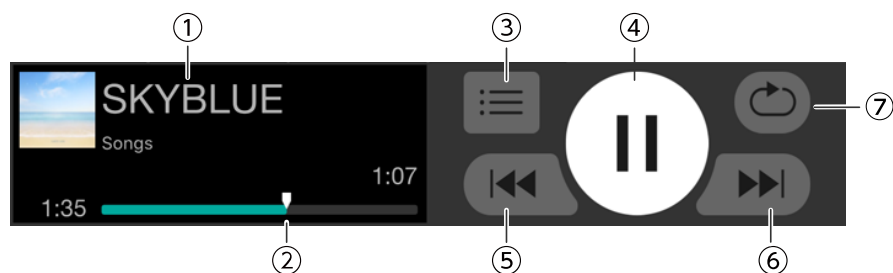
④ MASTERレベル位置

現在のマスターフェーダーのレベルを表示します。

⑤ MASTERレベルINC/DECボタン

INC(+)/DEC(-)ボタンをタップしてマスターレベルを設定します。
INC(+)/DEC(-)ボタンの間にはマスターレベルを数値で表示します。

7.3. MUSIC PLAYERセクション



① 曲名

再生中の曲名を表示します。曲名がない場合はファイル名を表示します。
曲名の下には、プレイリスト名を表示します。前回再生終了した曲（プレイリスト）が自動的に選択されます。

② ソングポジション

再生している時間を表示します。

バーで曲全体を表示し、ソングポジションマーカーが再生にあわせて、右に進行します。

ソングポジションマーカーをドラッグして、ソングポジションを変更できます。

右端には、曲の残り時間を表示します。

③ Songボタン

タップすると、[SONG画面](#)を開きます。

④ Play/Pauseボタン

停止中（一時停止も含む）はPlayボタンを表示します。Playボタンをタップすると、曲を再生します。

再生中はPauseボタンが表示されます。Pauseボタンをタップすると、曲を一時停止します。

“Cued Mode”がONのときは、曲の再生が終わると、次の曲の先頭で一時停止します。“Cued Mode”がOFFのときは、続けて次の曲を再生します。



NOTE

[SETTINGS画面](#)の“Cued Mode”で再生モードを設定できます。

⑤ Back skipボタン

タップすると、前の曲の先頭にジャンプします。

再生中にタップした場合、“Cued Mode”がONのときは曲の先頭で停止します。“Cued Mode”がOFFのときは、曲の先頭から再生を開始します。

プレイリストの先頭の曲のときは、その曲の先頭にジャンプします。



⑥ Skipボタン

タップすると、次の曲の先頭にジャンプします。

再生中にタップした場合、“Cued Mode”がONのときは曲の先頭で停止します。“Cued Mode”がOFFのときは、曲の先頭から再生を開始します。

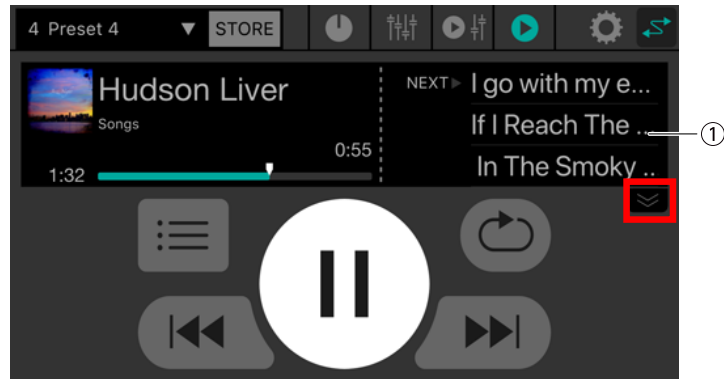
プレイリストの最後の曲だったときは、プレイリストの先頭にジャンプします。

⑦ Repeatボタン

タップするたびに、全体リピート再生ON()→1曲リピート再生ON()→リピート再生OFFと切り替わります。ONのときは点灯します。

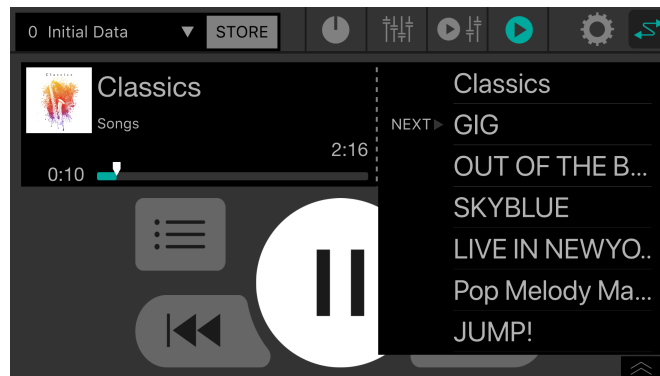
8. MUSIC PLAYER画面

MUSIC PLAYER画面の機能の説明は[7.3 MUSIC PLAYERセクション](#)をご参照ください。



① ソングリスト

プレイリストの曲名をリスト表示します。ソングリストは上下にスクロールできます。曲をタップすると、タップした曲がカレントソングになります。ソングリストは3曲分表示されます。下向き矢印ボタンをタップすると、リスト表示領域が増えます。

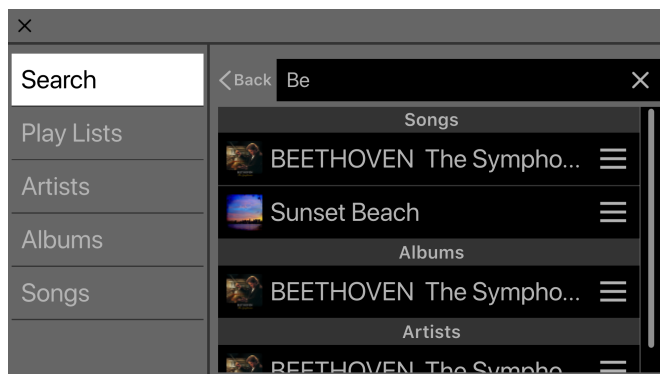


9. SONG画面

この画面では、再生する曲の選択やプレイリストの作成をします。
左側のメニューのタブをタップして画面を切り替えます。

9.1. Search

Search Boxに入力すると、該当するプレイリスト、曲、アーティスト、アルバムをSearch Boxの下にリスト表示します。



9.2. Playlists

モバイル端末に保存されているプレイリストをリスト表示します。



① New Playlistボタン

新規にプレイリストを作成します。タップすると、新規プレイリスト名を入力する画面が表示されます。

② Deleteボタン

タップすると、選択したプレイリストを削除します。

③ Addボタン

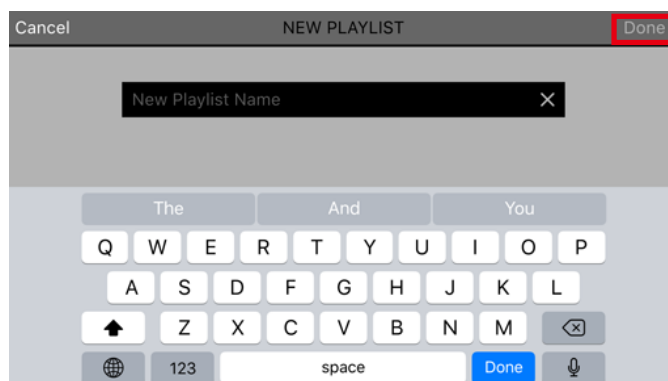
タップすると、選択したプレイリストに追加します。

NOTE

- ・本アプリケーション以外で作成したプレイリストは編集できません。編集できないプレイリストは、鍵マークのアイコンが左上に表示されます。

9.2.1. 新規プレイリストを作成する

1. New playlistをタップします。
新規プレイリスト名を入力する画面が表示されます。



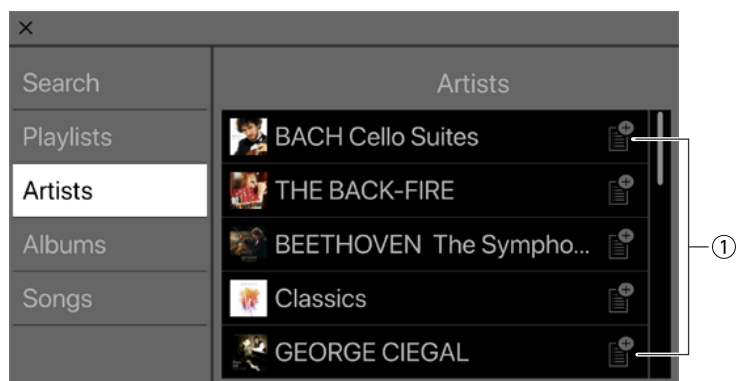
2. プレイリスト名を入力し、Doneボタンをタップして確定します。

NOTE

- ・ 最大64文字まで入力できます。日本語も入力できます。

9.3. Artist

モバイル端末に保存されている曲のアーティストをリスト表示します。

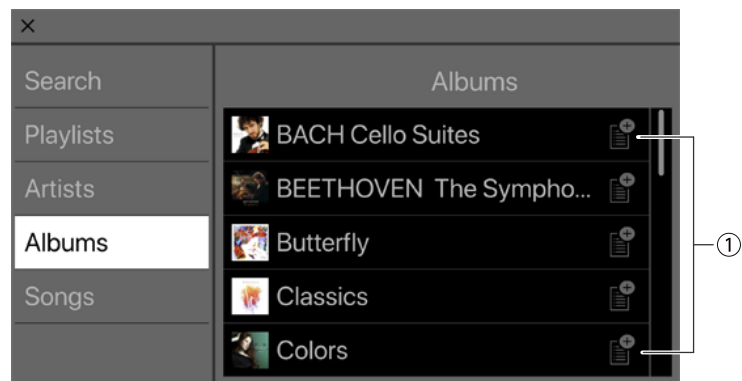


① Addボタン

タップすると、プレイリスト選択画面が表示され、選択したプレイリストにこのアーティストの曲を追加できます。

9.4. Albums

モバイル端末に保存されているアルバムをリスト表示します。アルバムをタップすると、そのアルバムに含まれる曲をリスト表示します。

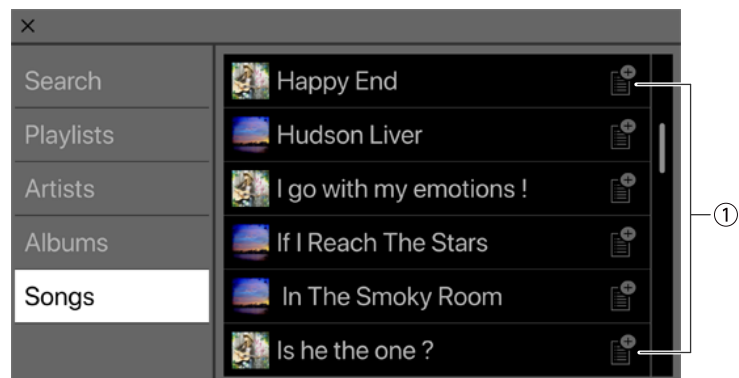


① Addボタン

タップすると、プレイリスト選択画面が表示され、選択したプレイリストにアルバムの曲を追加できます。

9.5. Songs

モバイル端末に保存されている曲をリスト表示します。

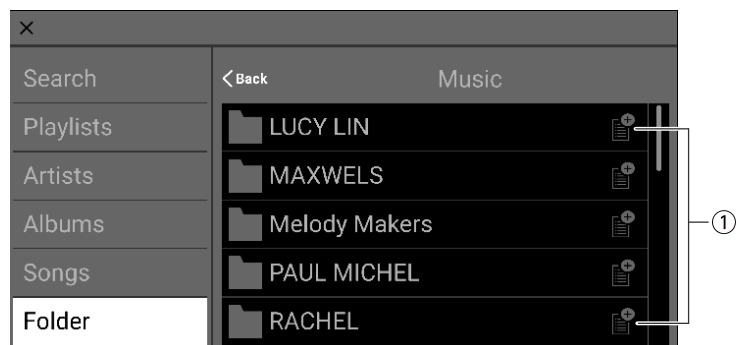


① Addボタン

タップすると、プレイリスト選択画面が表示され、プレイリストを追加できます。

9.6. Folder (Android端末のみ表示)

フォルダーをタップすると、内容（曲とフォルダー）をリスト表示します。フォルダーをタップすると、そのフォルダーの内容をリスト表示します。

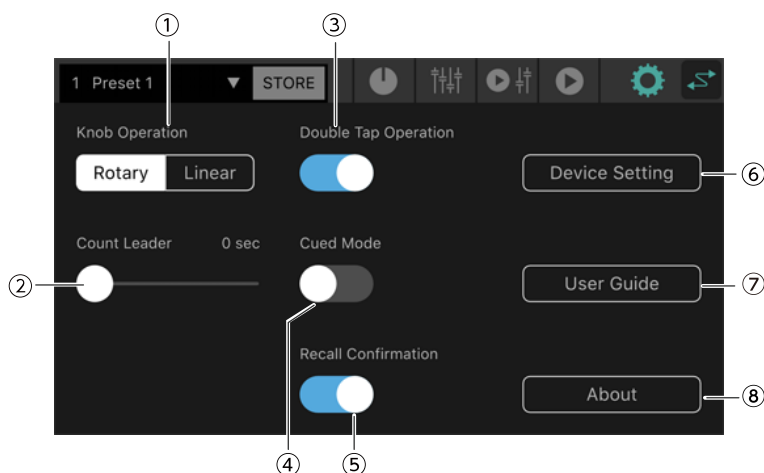


① Addボタン

タップすると、プレイリスト選択画面が表示され、選択したプレイリストにこのフォルダーの曲を追加できます。

10. SETTINGS画面

STAGEPAS Editorの各種設定を行ないます。



① Knob Operation

STAGEPAS Editorのノブのモードを好みに応じて設定できます。

Rotary：ノブの形に沿って円を描くようにドラッグすることで値を変更します。時計回しで値を増やし、反時計回しで値を減らします。

Linear：上または右にドラッグすると値を増やし、下または左にドラッグすると値を減らします。

初期値：Rotary

② Count Leader

MUSIC PLAYERのPlayボタンをタップしてから、実際に再生を開始するまでの時間を設定します。

スライダーで、0～10秒まで1秒単位で設定できます。

Count Leaderを設定した場合、Playボタンをタップすると、設定した時間で1周するようなサークルがPlayボタンの円周に表示されます。

カウント中に再度PLAYボタンをタップすると、再生がキャンセルされます。



初期値：0秒

③ Double Tap Operation

ダブルタップ操作のON/OFFを設定します。ONにすると、ダブルタップ時にEFFECT/EQ/PAN画面のパラメーターを初期値に戻せます。

初期値：ON

④ Cued Mode

MUSIC PLAYERの再生モードを設定します。

ONのときは、曲の再生が終わると、次の曲の先頭で一時停止します。

OFFのときは、続けて次の曲を再生します。

初期値：OFF

⑤ Recall Confirmation

リコール時に確認メッセージを表示するかどうかを設定します。

初期値：ON

⑥ Device Settingボタン

タップすると、Device setting画面を表示します。

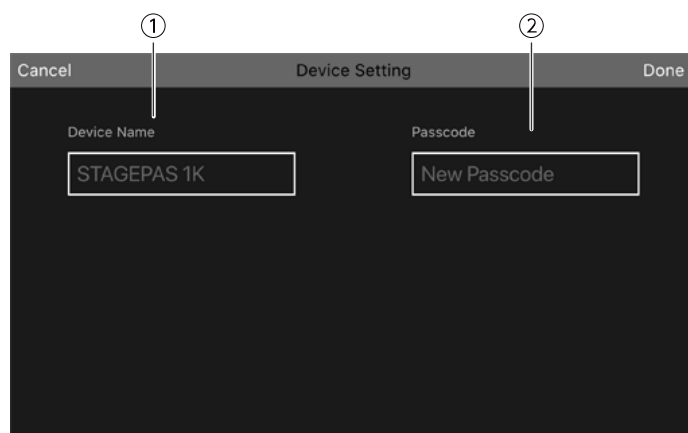
⑦ User Guideボタン

STAGEPAS Editorユーザーガイド(本書)を表示します。

⑧ About

About画面を表示します。

10.1. Device Setting画面



① Device Name

STAGEPAS 1KのDevice Nameを設定します。

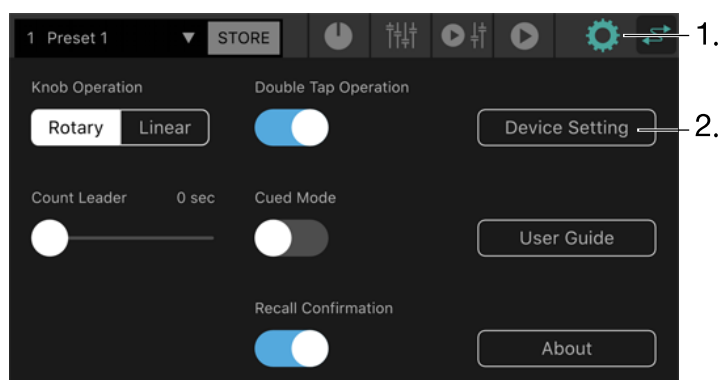
② Passcode

セキュリティのためのパスコードを設定します。

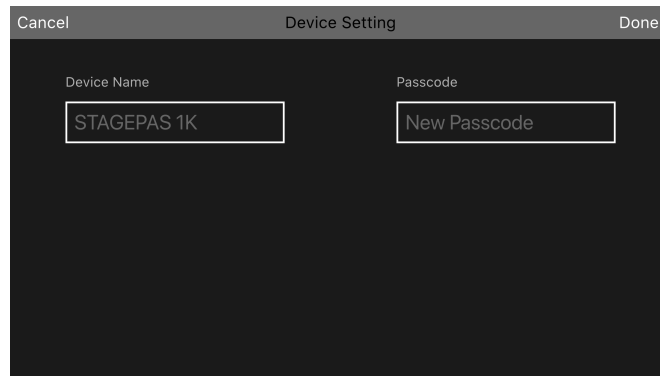
10.2. Device Nameを設定する

Device Nameは、Device List画面での表示のほか、モバイル端末のBluetoothのペアリング画面でも表示されます。

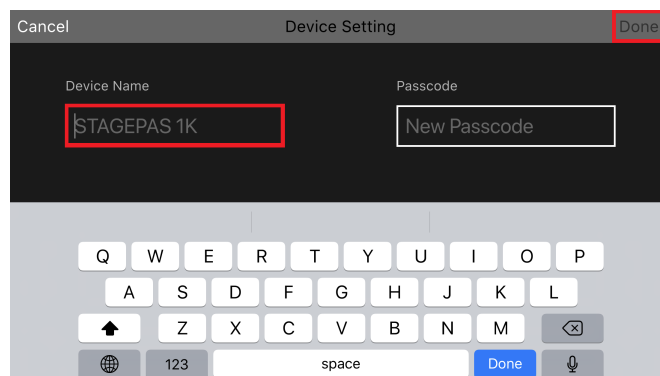
1. ツールバーの  をタップし、SETTINGS画面を表示します。



2. Device Settingボタンをタップして、Device Setting画面を表示します。



3. Device Name入力欄をタップして、Device Nameを入力します。



4. Doneボタンを押して確定します。

NOTE

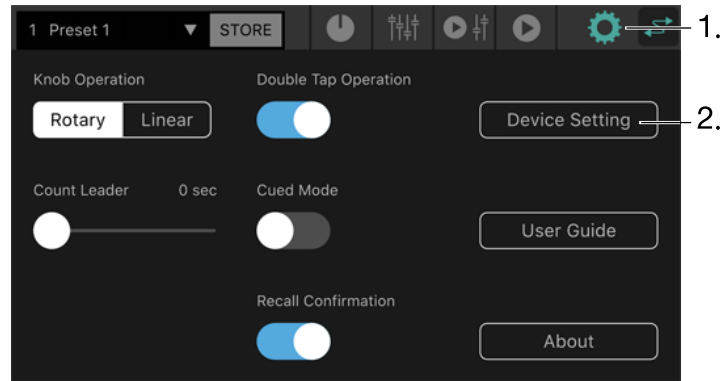
- ・ 空白のままに設定できますが、空白にした場合は「STAGEPAS 1K」と表示されます。

10.3. パスコードを設定する

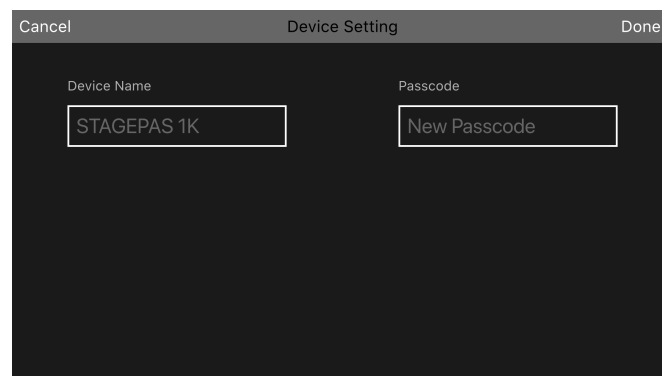
NOTE

- ・ パスコードを設定しないとオンライン接続できません。
- ・ 設定したパスコードを忘れてしまった場合は、STAGEPAS 1Kを初期化してください。パスコードは忘れないよう、ご注意ください。

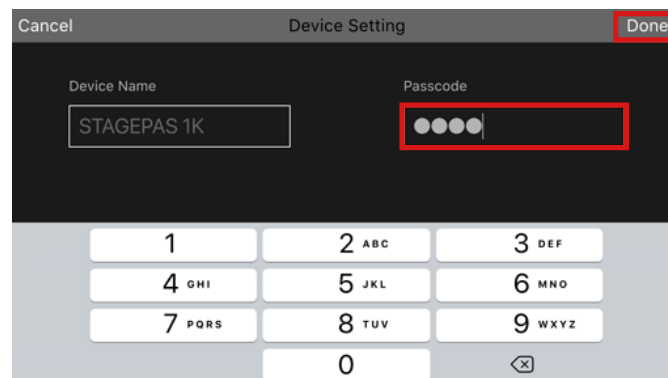
1. ツールバーの をタップし、SETTINGS画面を表示します。



2. Device Settingボタンをタップして、Device Setting画面を表示します。



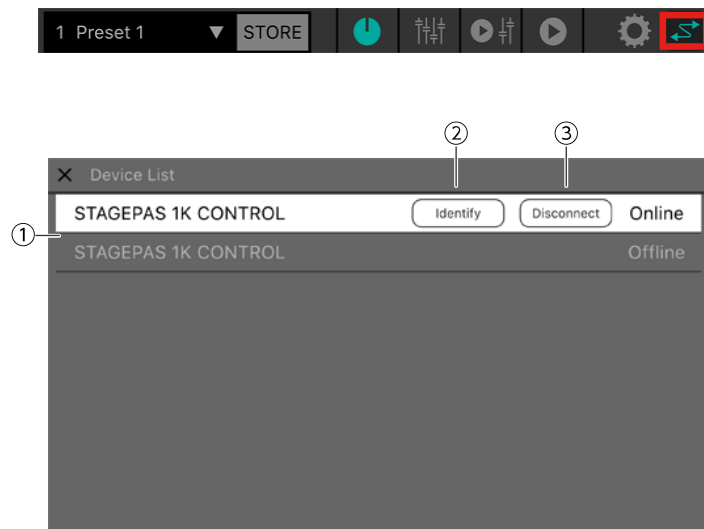
3. パスコード入力欄をタップして、パスコード(任意の4桁の数字)を入力し、Doneボタンをタップして確定します。



パスコードがSTAGEPAS 1Kに送信され、Device Setting画面に戻ります。
Cancelボタンをタップすると、SETTINGS画面に戻ります。

11. Device List画面

ツールバーのオンラインボタンをタップすると、Device List画面を表示します。



① デバイスリスト

接続可能なSTAGEPAS 1KのDevice Nameのリストを表示します。

② Identifyボタン

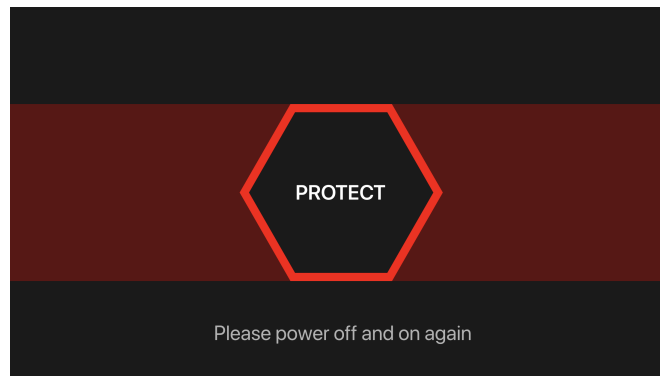
オンライン中のみ表示されます。このボタンをタップすると、選択しているSTAGEPAS 1Kのインジケーターがしばらく点滅します。

③ Connect (Disconnect)ボタン

選択したデバイスがオフラインの場合は、Connectボタンを表示します。オンラインの場合はDisconnectボタンを表示します。

12. 警告表示について

STAGEPAS 1Kで保護機能が動作したときは、以下の画面が表示されます。
保護機能が解除されると、自動的にこの画面を閉じます。



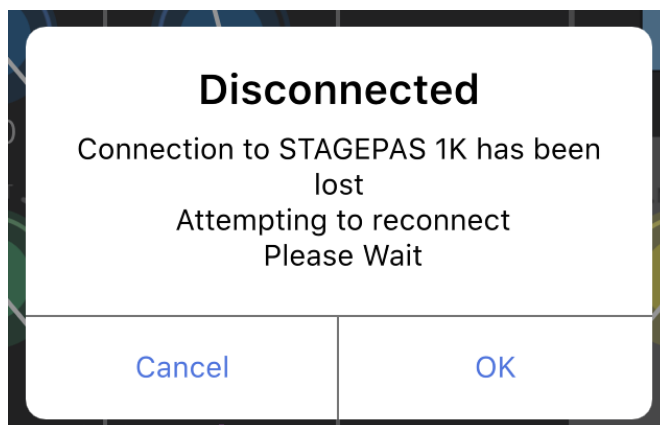
画面下部のメッセージは以下の状態を示しています。

Please wait until the amplifier cools down
:アンプの過熱を検出した場合

Please power off and on again
:過電流を検出した場合

13. エラー表示について

Bluetoothの通信状況が悪くなったり、STAGEPAS 1K本体の電源をオフにするとリモート操作ができなくなり、下記のメッセージを表示します。



ここでCancelをタップすると、オフラインになります。OKをタップすると、そのまま待機し自動的に接続復帰します。

NOTE

STAGEPAS 1K本体を再起動すると、STAGEPAS EditorのパラメーターはSTAGEPAS 1K本体のツマミの設定値に戻ります。

Manual Development Group
© 2019 Yamaha Corporation
2020年12月 発行
YJMA-B0